

のだみらいを代表いたしまして、陳情第2号小中学校の給食費完全無償化の実施を求める陳情について、反対の立場で討論します。

子育て世帯への家計負担の軽減として、給食費の完全無償化を実施する自治体も増加してきておりますが、導入には大きな財源が必要となります。

野田市で完全無償化を導入した場合の試算では、毎年5億8,000万円のコストがかかり、大きな財政負担を伴うため、現時点において、市単独でやるべきではないと考えており、本来であれば国がその財源を補い、各自治体に不公平感が出ないように、一斉に無償化を実施するべきと考えます。

そうした中で、野田市では第3子以降の学校給食費の無償化、学校給食における野田産米の購入補助、物価高騰対策、保護者負担軽減策など、子育て世帯への家計負担の軽減への対策は実施しており、学校給食における地産地消の考えから安心安全な農畜産物の導入にも取り組んでいる状況です。

以上のことから、現時点での小中学校の学校給食を完全無償化することには反対といたします。